

科目名		演習Ⅰ（自治体行政学）	
担当教員	外川伸一	科目区分	演習
開講区分	通年	単位数	4単位
曜日時限	月曜・2時限	開講年次	1年
到達目標	本演習の知識等を踏まえて、具体的な修士論文構想を確定し、概要の肉付けに着手する。		
授業概要	<p>本演習は、わが国の自治体が、自律と自己統治の結合である「自治」概念を具体化し、自己規準定立機能と自己意思による自己行為の統制・制御能力を発揮するためには、自治体・自治体職員の制度・機能・政策などに、どのような変革が求められるかを自治体行政学の考え方（概念）と手法を基にして広範に考察していくことをねらいとする。</p> <p>演習生は、こうした考察を通して、次年度に本格的に着手する修士論文に論理性と独創性が発揮されるよう、努めてもらいたい。</p>		
授業計画			
回数	内容		
第1回	オリエンテーション		
第2回	各自の修士論文研究計画の発表・討論と講評(1)		
第3回	各自の修士論文研究計画の発表・討論と講評(2)		
第4回	各自の修士論文研究計画の発表・討論と講評(3)		
第5回	それぞれの研究に適した書物・論文等（自治制度、政府間関係、行政改革、自治体政策等）の輪読・討論及び解説(1)		
第6回	それぞれの研究に適した書物・論文等の輪読・討論及び解説(2)		
第7回	それぞれの研究に適した書物・論文等の輪読・討論及び解説(3)		
第8回	それぞれの研究に適した書物・論文等の輪読・討論及び解説(4)		
第9回	それぞれの研究に適した書物・論文等の輪読・討論及び解説(5)		
第10回	それぞれの研究に適した書物・論文等の輪読・討論及び解説(6)		
第11回	それぞれの研究に適した書物・論文等の輪読・討論及び解説(7)		
第12回	それぞれの研究に適した書物・論文等の輪読・討論及び解説(8)		
第13回	関係する概念・理論等（自治制度であれば各種広域連携制度など）の解説及び質疑応答(1)		
第14回	関係する概念・理論等の解説及び質疑応答(2)		
第15回	前期のまとめ		
第16回	前期を踏まえて教員が選択した論文（第5回に記した領域）の輪読・討論及び質疑応答(1)		
第17回	前期を踏まえて教員が選択した論文の輪読・討論及び質疑応答(2)		
第18回	前期を踏まえて教員が選択した論文の輪読・討論及び質疑応答(3)		
第19回	前期を踏まえて教員が選択した論文の輪読・討論及び質疑応答(4)		
第20回	前期を踏まえて教員が選択した論文の輪読・討論及び質疑応答(5)		
第21回	前期を踏まえて教員が選択した論文の輪読・討論及び質疑応答(6)		
第22回	前期を踏まえて教員が選択した論文の輪読・討論及び質疑応答(7)		
第23回	上記論文の問題意識・分析方法・論理性・体系性に重点を置いた解説(1)		
第24回	上記論文の問題意識・分析方法・論理性・体系性に重点を置いた解説(2)		
第25回	上記論文の問題意識・分析方法・論理性・体系性に重点を置いた解説(3)		
第26回	上記論文の問題意識・分析方法・論理性・体系性に重点を置いた解説(4)		
第27回	2年生の修士論文概要発表と質疑応答・講評(1)		
第28回	2年生の修士論文概要発表と質疑応答・講評(2)		
第29回	まとめ(1)		
第30回	まとめ(2)		
準備学習等 （課題・予習・復習・調査等）	前期・後期に輪読する論文のコピーをあらかじめ配布するので、当日、担当でない学生も必ず予習をして臨むこと。授業後は小レポートに備えて復習を必ず行うこと。		

評価方法・基準 ・講評の方法	<p>期末試験（レポート）（50%）、小レポート（50%）で評価する。</p> <p>それぞれのレポートの講評については、メールを用いて行うが、希望者には直接、研究室で説明する。</p>
テキスト・参考書	<p>テキストは用いない。</p> <p>輪読する論文のコピーについては、あらかじめ配布する。</p>
前年度の授業を ふまえた今年度 の授業方針	<p>演習なので、当然、双方向性を重視する。</p>
学生への メッセージ	<p>この演習を通じて、修士論文の構成・内容・分析手法等を確定してもらいたい。</p>
授業に参考と なるサイト	<p>演習の中で、教示するが、特に、総務省のサイトは重要である。</p>
関連する画像	
その他・備考	